



# CEReS

## Newsletter No. 152

Center for Environmental Remote Sensing, Chiba University, Japan

千葉大学環境リモートセンシング研究センター ニュースレター 2018年7月  
発行：環境リモートセンシング研究センター  
(本号の編集担当：本郷千春)  
住所：〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33  
Tel: 043-290-3832 Fax: 043-290-3857  
URL: <http://www.cr.chiba-u.jp/>

## ■■■ 平成30年度共同利用研究採択課題決定 ■■■

～ 平成30年度第1回拠点運営委員会開催 ～

7月2日に開催された平成30年度第1回拠点運営委員会で国内共同研究課題43件、国際共同研究課題8件の採択が決定しました。プログラム研究、一般研究、研究会、国際共同研究の4つの枠組みに対して申請された課題から、共同利用研究推進委員会および教員会議での審議を経て承認されたもので、平成26年度より公募開始した国際共同研究も順調に応募件数が増え、その研究成果が期待される所です。共同利用研究等の詳細は、当センターウェブサイトの共同利用ページに掲載しております。採択課題一覧も合わせて下記をご参照ください。

採択課題一覧：<http://www.cr.chiba-u.jp/Documents/Koubo/collaborativeresults-H30.pdf>

この研究成果となる報告会は、第21回CEReS環境リモートセンシングシンポジウム（平成30年度共同利用研究発表会）として、平成31年2月14日（木）に開催する予定です。

また、拠点運営委員会ではCEReSの現状や研究の進捗状況などさまざまな質疑のもと、活発な意見交換がなされました。今後の新たな視点にもなりえる貴重なご提言をいただき、検討課題も明確になりました。次に向けて関係機関との連携をさらに強固にし、研究に邁進いたします。

(共同利用研究推進委員会)

## ■■■ SPH 愛知県立三谷水産高校を訪問 ■■■

～ 高校生の可能性を肌で感じて ～

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH\*）制度で関わらせていただいている愛知県立三谷水産高校（蒲郡市）を訪問しました。三谷水産高校は平成28年度にこの制度に採択され、今年で3年目となりますが、私、近藤の担当するドローン（マルチコプター）による沿岸水域モニタリングでは、高校生が自分たちでドローンを制作し、撮影した画像を解析しています。今年の3月には学生数名がCEReSを訪れ、ひまわり8号による衛星画像見学や当研究室で進めているドローンを活用した近接リモートセンシング研究など、大学院生による説明を熱心に聞き入っている姿に意気込みを感じました。もちろん、私は偉そうに勝手なご意見を言うだけで、何もやってはいないのですが、高校生は着実に進歩しています。三谷水産高校のSPHでは6つの課題に対して各グループがそれぞれ取り組み、高校生とは思えない素晴らしい成果をあげているのですが、文部科学省からは課題が多すぎるとの意見がついていて聞いております。複数の小目標に取り組み、その中から関係性を見だし、大目標を見だしていくやり方が、新しいものを生み出します。目標の階層性を意識して、小目標を関係性でつなぐというやり方、それはFuture Earth\*やSDGs\*達成の方法だと思いますが、ここでは確実に実行されています。今後の成果が楽しみです。（2018年7月3日；近藤昭彦）



#### ※スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）

平成 26 年度から文部科学省で実施されている事業で、その趣旨は、専門高校において、大学・研究機関・企業等との連携の強化等により、社会の変化や産業の動向等に対応した、高度な知識・技能を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成することを目的としています。（文部科学省HPより）

#### ※Future Earth

持続可能な地球社会の実現をめざす国際協働研究のプラットフォーム（Future Earth アジア地域センターHPより）。CEReS でも 2016 年より取り組んでいます。

#### ※SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）

2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2016 年から 2030 年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。（外務省HPより）



#### \* CEReS よりお知らせ

■ 近藤雅征特任助教、第 3 回国際気候変動学会の Keynote Speaker に選ばれる。

来年 2 月にマレーシアのクアラルンプールにて、第 3 回国際気候変動学会（International Conference of Climate Change）が開催されます。この回のテーマは“Adaptation and Mitigation in practice: Local and Global innovations”と題して、この活動に取り組む研究者たちが一堂に会し、意見交換、問題解決に向けて議論する予定です。その Keynote Speaker（基調講演者）として登壇します。その模様は来年のニューズレター 2 月号にてご紹介いたします。

※参照：国際気候変動学会HP（<https://climatechangeconferences.com/>）

■ 平成 29 年度環境リモートセンシング研究センターの年報を発行しました。また、先行して 2 月 15 日に開催しました第 20 回 CEReS 環境リモートセンシングシンポジウムの資料集も発行しております。CEReS ウェブサイトの年報のページ（<http://www.cr.chiba-u.jp/japanese/report.html>）からもご覧いただけます。あわせてご参照ください。

